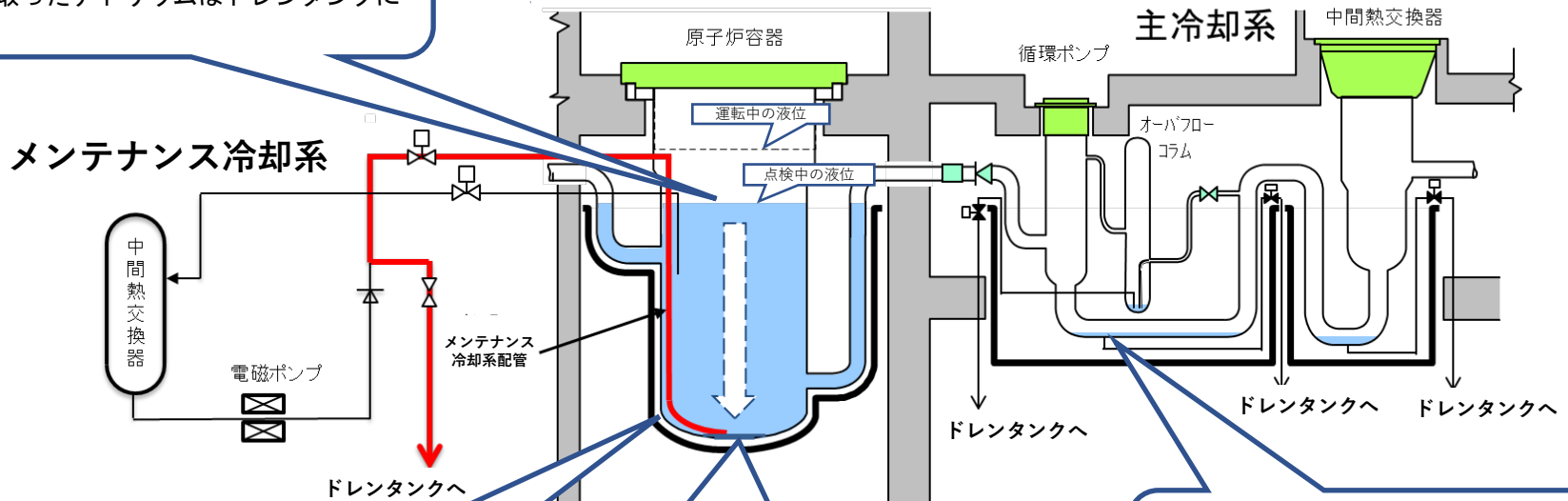


「もんじゅ」における1次系ナトリウムの抜き取りに向けた検討状況について

- 原子力機構は、「もんじゅ」の燃料体を炉心から取り出した後、主冷却系などのナトリウム機器の解体に向けた準備作業を実施し、実際の解体作業に着手することとしている。1次系ナトリウムの抜き取りは、この解体作業の前に実施する。
- 原子力機構は、1次系ナトリウムの抜き取りの具体的な手順等について、海外での先行事例ともんじゅの構造等も踏まえながら、ナトリウム機器の解体手順やナトリウム搬出手順等と合わせて、今後、検討。また、全てのナトリウムを抜き取るに当たっては、一時保管用タンクの設置の要否についても、検討を実施。
- 1次系ナトリウムの抜き取りについては、適宜「もんじゅ」廃止措置評価専門家会合に助言を求める。

①通常メンテナンスの方法により、主冷却系配管からナトリウムを抜き取る。また原子炉容器については点検中の液位までナトリウムを抜き取る。抜き取ったナトリウムはドレンタンクに保管する。

1次系ナトリウムの抜き取りの流れ



②メンテナンス冷却系配管を用いて、原子炉容器のナトリウムをほぼ底部まで抜き取る。抜き取ったナトリウムはドレンタンクに保管する。
【具体的な手順はもんじゅの構造等を踏まえながら、今後検討する。】

③原子炉容器（底部）等に残留するナトリウムを抜き取る。
【具体的な実施方法は、海外での先行事例を踏まえながら、今後検討する。】

④機器・配管内部の残留ナトリウムの安定化処理を行う。
【具体的な実施方法は、海外での先行事例を踏まえながら、今後検討する。】